

## 沼上 賢次 議員

### 「空き家等の適正管理に関する条例」制定が必要

**問** 空き家の増加は、地震や風水害時の倒壊など、市民の生活環境を脅かしている。本条例の導入の考えはどうか。

**答** 大規模地震発生による倒壊被害を最小限にする観点や防犯の観点を含めて、条例化の検討を進めていきたい。

### 公共財産を有効活用し避難所施設の充実を

**問** 災害時における飲料水の確保と、正確かつ迅速な情報伝達を市民に供給できる災害対応型自動販売機を、早期導入できないか。

**答** 無料で飲料水を提供できる災害対応型自動販売機が設置できるよう、設置事業者や施設管理者と連携を図り、設置を進めていきたい。



市役所内に設置されている災害対応型自動販売機

### 成人用肺炎球菌ワクチン接種の公費助成を

**問** ワクチン接種の有効性、必要性からも普及促進は重要な課題である。高齢者の生命、健康の維持のため、公費助成の実施ができないか。

**答** 肺炎にかかる方が増加している中で、ワクチンが非常に有効であることから、公費助成について、来年度実施に向けて検討をしていきたい。

## 寺田 守 議員

### 内水氾濫への対策を

**問** 8月14日の集中豪雨において、取付けた水位計・浸水センサーは機能したか。また、今後の活用をさらに検討すべきではないか。

**答** センサーは作動し、周辺住民の避難に役立つ。今後、降雨量と河川の水位の関係などのデータを収集し、災害対策に活かしていきたい。

### 事業用太陽光発電の設置を

**問** 市内の最終処分場跡地や貯水池は、太陽光発電の設置が見込めると思うがどうか。

**答** 処分場跡地は、監視期間中、また広場の整備という状況により、導入は難しいが、貯水池などについては、市財産の有効活用にもなるので、実施に向けて進めることに取り組んでいきたい。

### 健康寿命と市の取り組みは

**問** 国が行った健康寿命調査では、静岡県は全国1位であった。県も「お達者度」を調査しているが「日本一健康文化都市」を掲げる当市の取り組みはどうか。

**答** これからも、生活習慣病の予防や元気に暮らすための介護予防事業に、積極的に取り組んでいきたい。



大谷川に設置されている水位計